

第3版によせて

『質的調査の方法』は2010年に第1版を、2016年に第2版を刊行しました。多くの方に読んでいただいたおかげで、このたび、第3版を出すことになり、とてもうれしく思っています。

第2版の「はじめに」に、「この間、社会においていろいろな変化がありました。みなさんにとって身近なことといえば、スマホの普及と、それによってより「手軽に」人や情報とつながれるようになったことではないでしょうか」と書きました。5年前の文章なのに、もう古く感じられます。今ではSNS (Social Networking Service) による人間関係や情報収集は当たり前です。今回の改訂では、そうした時代の調査法として「ソーシャルメディア分析法」を取り入れました。ツイッターやインスタグラムなどを使って自分なりの調査をする学生は、すでに存在しています。しかし、その調査法を社会調査法のひとつとして丁寧に説明した教科書はありませんでした。本書の「ソーシャルメディア分析法」は、みなさんにとってよいアドバイスとなることでしょう。

その他にも、各章の「練習問題」を新しくしたり、「質的調査のひろがり」という少し長めのコラムを設けたりするなど、全面的なアップデートを施しました。なかでも第12章「質的調査と調査倫理」、第13章「質的調査の表現とふりかえり」は内容を大幅に変更し、なぜこのことを考えなくてはいけないかを問うています。これらを詳しく扱う教科書はまだ多くありませんが、その重要性は一段と増しています。

「質的調査法」の教科書はいくつかありますが、本書の特徴は「使える」ということです。それは、執筆してくださった方々が、ご自身の経験から得た「コツ」を惜しげもなく披露してくれているからでしょう。使っているうちに、書き手の声が聞こえてくるのではないのでしょうか。